

かけはし

第113号

平成 29 年 1 2 月 7 日発行

発行／千代田区教育委員会 編集／子ども部子ども総務課
代表電話 3264-2111 <http://www.city.chiyoda.lg.jp/>

- ☆保育園の遠足の報告
- ☆区立小・中・中等教育学校の特色
- ☆学力調査・体力調査の結果から
- ☆学校保健会だより
- ☆教育委員会開催状況

遠足にいらってきました！

今年も神田保育園では、10月に各クラスで遠足が行われました。2歳児は北の丸公園、3歳児は東武鉄道の文化や歴史を紹介する東武博物館、4歳児と5歳児は川越市にある農園にいも掘りに行きました。

親子での参加となった5歳児クラスのいも掘り遠足では、園児が大きなおいもをお父さんやお母さんと一緒に掘ったり、つるでクリスマス用のリースを作ったりと微笑ましい姿が見られました。

2歳児

どんぐりは
どこかな？



3歳児

きかんしゃ
かっこいい！



4歳児

よいしょ、
よいしょ！



5歳児

たくさん
とれたよ！



区立小・中・中等教育学校の特色



麹町小学校

こうじ まち ばやし 麹町囃子・しし舞鑑賞会

3学期の始めに麹町囃子の代表石坂さん他数名をお招きし、「麹町囃子としし舞い」の鑑賞会を行います。新年の始めに、よいスタートを切ることができるように計画しています。

「麹町囃子」は、千代田区役所の職員で麹町に住んでいた下平さんという方が、昭和30年頃から麹町一二三（ひふみ）町会の方々にお囃子を教え、日枝神社の祭礼の時に、お囃子の屋台で演奏していたことが始まりだそうです。毎月1回、一番町児童館の会議室で練習を行い、麹町小学校の児童も参加しています。鑑賞会の前には、事前に「麹町囃子」の歴史について学習します。また、練習の様子も動画で見るとして「麹町囃子」への興味関心を高めます。鑑賞会では、「麹町囃子」の演奏を聞き、「しし舞い」の獅子に学級の代表者が頭を噛んでいたいただきます。古くからある日本の文化が、自分の身近な地域にもあることを知り、地域への愛着をもち、伝統を大切にしようとする気持ちを育てていこうと考えています。



九段小学校

地域と協力した「囲碁」の学習

学校のすぐ近くに日本棋院があることから、全学年、年間3回囲碁の授業やクラブ活動、放課後囲碁教室を行っています。プロ棋士の先生をお招きして、「囲碁」の学習が展開されています。

囲碁の取組を通して、子どもの思考の柔軟性や発想の豊かさに驚かされることがしばしばあります。子どもたちには、楽しみながら技法を習得すると共に相手への礼儀の精神を養うこともできています。

○囲碁授業…低学年では、囲碁に慣れ親しむことを、中学年では、簡単な対局を通して主に技法の初歩的なことを、高学年では、日本の伝統文化の一つである囲碁の歴史を学習し、主に対局を通して囲碁の楽しさを学ぶことを目的に授業が行われています。

○囲碁クラブの設定…年間10回実施されています。日本棋院の方に直接指導をいただいています。

○放課後囲碁教室…1年生から6年生までの囲碁に興味・関心のある児童対象に放課後囲碁教室を開設しています。

○地域・保護者の皆様との連携・協働…各教科にわたり連携していくことこそ学校教育の充実につながると考えています。



番町小学校

言葉を大切に紡いでいく活動

番町小学校は「自分の考えを分かりやすく書くことができる児童の育成」を研究主題として、国語科・理科を通して研究に取り組んでいます。昨年度まで読書に関連させて追究を継続してきたこともあり、朝読書や上智大学生による読み聞かせ等、本に親しむ活動を柱とした学びがしっかりと位置づいています。また、番町ことば検定、子ども広告教室、シナリオ教室等、言葉の力を磨いていくプログラムにも計画的に取り組んでいます。こうした中で培われた「論理を作り、自分の考えを分かりやすく書くことができる力」は各教科・領域の学習で十分に生かされ、さらに広がりや深まりのある読書活動へと発展していきます。

「語彙の確実な習得、意見と根拠、具体と抽象を抑えて考える等、情報を正確に理解し適切に表現する力の育成」という新学習指導要領のポイントに正対する本校の教育です。



富士見小学校

「つながり」を大切にする富士見の教育

本校は、毎年12月に地域・保護者にご協力いただき、ふれあいまつりを実施しています。雅楽、阿波踊り、かつぼれ、生け花、茶道、着付け、和太鼓、餅つき、昔遊びなど、全部で24のコーナーがあります。日頃、なかなか体験できない内容が多く、児童はこの日を楽しみにしています。また、学校前の早稲田通りは、地域の方にご協力いただき、年2回高学年が花を植えます。児童が植えた花が枯れないように、その後も地域の方たちが水やりなどをしてくださいます。そのことから、地域とのつながりを感じることができます。

他学年と一緒に活動する縦割り班活動も盛んに行われています。朝遊びの時間や給食など、定期的に6年生のリーダーを中心に、1年生から6年生まで一緒に活動することで、クラスの友達だけでなく、他学年とのつながりも大切にしています。小学校だけでなく、隣接するこども園とも交流を深め、ふれあいまつりでは5年生が5歳児を案内しています。



お茶の水小学校

先輩の思いを楽器の音色につないで —お茶の水小マーチングバンド—

お茶の水小学校は、3学期になると4年生全員が、先輩から金管楽器、木管楽器、打楽器の中から1つの楽器を引き継ぎます。4年生は、楽器が決まると先輩から演奏の仕方を学び、一生懸命に練習します。楽器の引き継ぎと演奏の練習の過程を通して、6年生は代々受け継がれてきた先輩から後輩に伝えたい大切な思いを、4年生はお茶の水小学校の高学年としての責任の重さを感じ取ります。そして3月の引き継ぎ式では、6年生の前で4、5年生が立派に演奏を披露します。

入学した時から、5、6年生の演奏に合わせて行進してきた曲が演奏できる喜びは、子どもたちにとって大変大きなものです。これからは自分たちが学校をリードするのだという意志と責任感、より良い学校をつくらうとする高い志によって、その喜びはさらに大きく膨らみます。このような子供たちの一年一年の積み重ねが、お茶の水小学校の伝統をつくり上げています。



千代田小学校

神田祭 わっしょい!!

千代田小学校は神田のまちの真ん中にあり、2年に1度行われる神田祭には、多くの児童が参加しています。今年は、神田祭が行われる前の5月上旬に、集会委員会が中心となって『神田祭集会』を実施しました。「神田囃子」が流れる中、子ども神輿や万灯をもった児童が練り歩くと、会場は大きな手拍子と「わっしょい」の掛け声に包まれました。また、長年に渡り神田祭に携わっていらっしゃる方をゲストティーチャーとしてお招きし、神田祭の歴史や「わっしょい」の意味(和を背負う)などについて詳しく教えていただきました。最後は、全員で神田一本締めをして締めくくり、多くの児童が神田祭への関心を高めた集会になりました。また、3年生の社会科でも地域の教材として神田祭を取り上げて学習します。

神田祭という地域が一体となる大きな行事を通して、地域社会の振興や地域を支える人々の協力などについて知り、将来の地域を支える児童の育成を目指していきます。



千代田区には区立の小学校が8校、中学校が2校、中等教育学校が1校あり、学校ごとに特色ある教育を行っています。地域や児童・生徒の特長を生かした各学校の教育活動を紹介します。



昌平小学校

昌平祝太鼓

昌平小学校では、神田明神将門太鼓指導者の先生をお迎えして、6年生が1年間をかけて「昌平祝太鼓」に取り組んでいます。

朝の時間、中休み、昼休みといった子どもたちの空き時間は自主的に太鼓の練習時間となっています。年間を通して取り組むことによって、また、様々な役割(大太鼓・小太鼓・チャッパ・鐘など)をみんなが経験することによって、だんだんと6年生の息が通じてきます。

卒業が近づくにつれ完成度が高まり、息だけでなく心もぴったりと合ってきます。それは、ひとえに一日一日の練習を積み重ねた成果です。

演奏の迫力に、1年生をはじめ全学年が魅了されます。その卒業生の姿を見て、6年生は憧れの存在になっていきます。下級生たちは、「自分たちも6年生のようになりたい。」という気持ちを持ち、最上級生となった時には、その「憧れ」を原動力として昌平祝太鼓に取り組んでいきます。

この昌平祝太鼓は、保護者、地域の皆様からも熱い支持をいただいています。

「これぞ伝統。」昌平祝太鼓が我が校の伝統として長く続いているのにはそんな理由があります。

今年も伝統を受け継ぎ、6年生が太鼓に向き合っています。



和泉小学校

神田の伝統・文化を発信する和泉小学校

本校では、東京都教育委員会が指定する平成28・29年度「伝統・文化教育推進校」指定校として、地域の伝統・文化のよさを発信することを柱としたオリンピック・パラリンピック教育を推進しています。本校は、神田囃子や神田雷神太鼓などの地域活動が盛んで、神田祭では大いに盛り上がります。そのような神田の町の地域の方々は、大変学校に協力的です。そこで、先のお囃子や地域の和菓子屋さん、企業の方、元日本人学校長の方等、様々な方々にゲストティーチャーをお願いして学習に関わっていただいています。

こうした活動を通し、子どもたちには、地域への理解と愛情が確実に深まるとともに、それを発信しようとする気持ち、更には多様な人々の思いを受信しようとする気持ちも高まっているのを感じます。

これからも、江戸から続くこの町の伝統・文化を共に継承していく和泉小学校です。



翹町中学校

2年生で行うスキルアップ宿泊とクエストエデュケーション

「スキルアップ宿泊」は2泊3日の日程で、問題解決の方法として、主にブレインストーミングとkJ法を学びます。そこで得た知識と技術を生かして、「クエストエデュケーション」に年間を通して取り組みます。これは、実在の企業(H29年度は次の6社 クレディセゾン・大和ハウス・テレビ東京・富士通・パナソニック・NTTドコモ)の協力を得て、インターンシップを体験するプログラムです。生徒は、スキルアップ宿泊で身に付けた問題解決の技術やプレゼンテーションの方法などのスキルを生かして、企業から与えられた課題に取り組みます。その取り組みの中で、社会とのつながりを意識したアクティブな学びを実践していきます。

企業からの課題に対し、自らの企画を提案する「クエストカップ」という全国大会が毎年2月に行われます。昨年度は高校生を中心に全国で約13,000人がエントリーしました。本校の生徒は、中学生ながら2年連続で全国大会に出場することができました。今年度も3年連続出場と念願の決勝進出を目指しています。



神田一橋中学校

神田に学ぶ、世界に生きる

江戸の風情を色濃く残す神田の街の学校として、囲碁や茶道、和装、和楽器等の体験を柱とした伝統文化に関する学習の充実を図っています。

また、情報化への対応としてICT機器や1人1台のタブレットを効果的に活用したわかりやすい授業、個別・協働学習など、生徒の主体的・対話的で深い学びを目指した授業を行っています。

さらに、グローバル化への対応として、英語の授業におけるスピーキングソフトの活用やプレゼンテーションをはじめとする発表活動の充実、放課後の英会話教室等、様々な取組を実践しています。また、今年度は、本校独自の取組として、2年生対象に『オーストラリア語学研修』を夏休みに1週間実施しました。

このように本校では広い教養を身に付け、自己実現と社会貢献とを両立できる人間の育成を目指した教育を実践しています。



九段中等教育学校

学ぶ意欲と確かな学力を育成する6年一貫教育

九段独自の6年一貫の特色ある教育活動で、生徒が学ぶようとする意欲と、生徒が将来の進路を切り拓いていくために必要な確かな学力を育成する教育活動を展開しています。「本物から学ぶ」をモットーに、本物と触れる体験を重視した教材を導入しています。

多様な生徒に対応した教育を実現できる少人数やチームティーチングの授業を多くの教科で実施。長期休業中などに実施する「特別講座」では、生徒の基礎・基本を支援する補習に加え、発展的な内容に挑戦するプログラムも推進しています。

6年間のキャリア教育「九段自立プラン」では、生徒が変化の激しい社会で自立して、よりよく生きていく力を育成するための継続的・系統的な特色ある教育を展開しています。また、生徒のグローバルマインドを育成する国際理解教育の推進の一環として、海外語学研修(3年生全員)を実施するとともに、海外でも通用するリーダーとしての資質を育成する人材育成プログラムである海外派遣研修(4年生・5年生希望者対象)を予定しています。



平成29年度 全国・東京都の学力調査の結果から

【全国学力・学習状況調査】(全国)

平成29年4月18日(火)実施
対象：小学校6年生 中学校3年生
科目：国語／算数(数学)

全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ったり、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てたりしています。問題は主として知識を問う「A問題」と主として活用する能力を問う「B問題」から構成されています。

【児童・生徒の学力向上を図るための調査】(東京都)

平成29年7月6日(木)実施
対象：小学校5年生 中学校2年生
科目：国語／社会／算数(数学)／理科／(英語)

児童・生徒一人一人の学習状況の改善に役立てるとともに、各学校における授業改善及び区市町村における学力向上のための施策の充実に役立てています。

本区の結果と改善の取組

千代田区は、全国・東京都の学力調査の全ての問題において、全国及び東京都の正答率を上回っています。しかし、どちらの学力調査においても、活用・探究に関する問題の正答率が若干低い傾向にあります。この課題の解決に向けて、千代田区教育委員会主催の教員研修や校内における研修体制をさらに充実させ、活用・探究する能力を高める問題解決型の授業改善に一層努めます。

また、本区では、これらの調査に加え、区として独自に実施している達成度調査の結果も加味しながら、学年ごとの授業改善プランを作成し、各学校のホームページ上にアップしています。この授業改善プランをもとに、一人一人の児童・生徒のよさを見出し、伸ばす指導を推進するとともに、課題を早期に発見し、組織的にその課題を解決していく指導を進めます。

【全国学力・学習状況調査】

* 数字は平均正答率

小学校		全国	東京都	千代田区
国語	A 問題	74.8	76	84
	B 問題	57.5	60	68
算数	A 問題	78.6	81	89
	B 問題	45.9	49	62

中学校		全国	東京都	千代田区
国語	A 問題	77.4	79	87
	B 問題	72.2	74	83
数学	A 問題	64.6	66	75
	B 問題	48.1	50	64

*平均正答率とは、全設問における正答数の割合を算出した値(個人の正答率)を足し合わせ、児童・生徒の人数で割った値です。

【児童・生徒の学力向上を図るための調査】

* 数字は平均正答率

小学校	東京都	千代田区
国語	68.1	75.5
社会	71.8	77.6
算数	60.7	69.2
理科	72.2	77.3

中学校	東京都	千代田区
国語	73	82.3
社会	56.2	66.8
数学	53.3	67.6
理科	56.6	65.3
英語	65	76.1

平成29年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、 生活・運動習慣等調査の結果から

【東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査】

対象：東京都の公立学校の児童・生徒
調査実施期間：平成29年4月から6月まで

児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析し、さらには、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図っています。

本区の結果と改善の取組

小学校は、5年生の男子、6年生の女子を除く全ての学年で、中学校は、2年生の男子を除く全ての学年で、区は都の体力合計点を上回っています。特に、昨年度課題のあった小学校低・中学年の握力、上体起こしなどの結果については、向上が見られました。各学校における地道な体力向上の取組が表れてきていると考えられます。

しかし、依然として、小学校のソフトボール投げや中学校の握力、持久走、ハンドボール投げなど、低い点数の種目もあり、今後も活動内容を工夫し、体力向上の取組を一層推進していく必要があります。各学校においては、本調査の結果を踏まえた取組の方法を定め、体力向上を推進していきます。

【体力・運動能力調査】

* 数字は体力合計点の平均点

男子		
小学校	東京都	千代田区
1 年	29.6	30.4
2 年	37.2	40
3 年	43.5	45.5
4 年	49.2	50
5 年	54.7	54.3
6 年	60.2	62.2

女子		
小学校	東京都	千代田区
1 年	29.5	31.4
2 年	37.4	39.8
3 年	43.9	46.2
4 年	50.2	51.1
5 年	56.3	56.6
6 年	61.5	61.3

中学校	東京都	千代田区
1 年	33	33
2 年	41.2	40.6
3 年	47.9	48.9

中学校	東京都	千代田区
1 年	44.1	45.3
2 年	49.1	50.9
3 年	51.1	52.7

*体力合計点とは、小、中学校8種目の体力テストの記録を男女別に点数化(1～10点)し、その合計点を80点満点で数値化したものです。

千代田区 学校保健会だより

第95号(昭和52年5月15日創刊)
千代田区学校保健会
会長 大関 邦子

平成29年度 千代田区学校保健会総会開催

- 開 催 日 平成29年6月8日(木)
- 会 場 いきいきプラザ一番町「カスケードホール」
- 主な議題 平成28年度事業、決算、監査の各報告及び承認
平成29年度事業計画案、予算案の各説明及び承認
平成29年度役員選出及び承認
- 講 演 スマホの使用と子どもの心の発達への影響
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 主任心理療法士 三原聡子氏



新会長挨拶

○新会長 大関邦子ふじみこども園長から挨拶

ご来賓の皆様、ご専門の先生方、そして医師・薬剤師の皆様、大勢集まりますこの会の会長を務めさせていただきまことに、改めて責任の重さを痛感しております。今回、会則の変更があり、保育園職員部会が増設されました。私は、このことを大変喜ばしく思っております。保育園・こども園は0歳から5歳児までのお子さんをお預かりしています。園では、栄養士や看護師など、子どもの心や体の健康に関わる専門の者たちが一生懸命働いています。本園ではこの間、歯科予防で「よい歯の表彰式」があり、その様子を玄関に掲示し、図書の司書の先生にお願いして、歯の本を分かりやすいところに置いて貸し出しをしていましたが、次の日に、乳児のお子さんとお父さんが歯の本を開かれて、歯の話を生懸命している姿がありました。また、栄養士は、5歳の子に出汁の話などをよくしてくれます。そうしましたら、おままごとで「これはすましじる」とか「このだしで」などと5歳の子が話をしています。やはり乳幼児期から学ぶ機会を持って、生涯にわたって健康な生活を送ることが非常に大切と痛感しております。今年度、この会の目的に従いまして皆様と協力し合ってやっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年度新役員

役職名	部会名	氏名	所 属	役職名	部会名	氏名	所 属
会長		大関邦子	ふじみこども園	理事	養護教諭	千葉千里	お茶の水小
副会長	校長・幼稚園長	高藤浩	富士見小		栄養教諭・学校栄養職員	御子貝牧子	富士見小
〃	学校医・幼稚園医	神尾友信	いずみこども園・和泉小	〃		清水満里子	神田児童館
〃	学校専門医・幼稚園専門医	八幡則子	ふじみこども園・富士見小・九段中等	〃	児童館職員	谷川香織	四番町児童館
〃	学校歯科医・幼稚園歯科医	今村昭二郎	お茶の水小	〃		能崎順子	四番町保育園
〃	学校薬剤師・幼稚園薬剤師	池田賢一	九段幼・小	〃	保育園職員	肥沼美智子	いずみこども園
理事	学校医・幼稚園医	徳永昌子	九段中等	〃	学校保健協力	國塚道和	富士見小
〃	学校専門医・幼稚園専門医	井上賢治	お茶の水幼・小	会計理事	養護教諭	上田たみ子	千代田小
〃	学校歯科医・幼稚園歯科医	愛知徹也	九段小・九段中等	〃	栄養教諭・学校栄養職員	吉村恵里子	麹町小
〃	学校薬剤師・幼稚園薬剤師	清水弘明	ふじみこども園・富士見小	監事		谷澤由紀子	ふじみこども園
				〃		磯野智博	富士見小
				常任理事		柳 晃一	学務課長

教育委員会の開催状況のお知らせ

【平成29年4月～9月】定例会 11 回、臨時会 1 回を開催しました。

◇提出された議案 12 件(うち可決・承認された議案 12 件)

※主な議案は次のとおりです。

- ・千代田区いじめ防止基本方針の改訂
- ・幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則
- ・平成30年度使用 千代田区立小学校(特別の教科 道徳を含む)、中学校・中等教育学校(前期課程)、中等教育学校(後期課程)、特別支援学級教科用図書採択
- ・千代田区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱

◇主な報告事項

- ・学校給食費の補助／・特別支援教育の実施／・第2回 千代田区子ども読書調査報告書／・お茶の水小学校・幼稚園の整備／・千代田区における小学校外国語学習時間増への対応／・就学援助の拡充／・学校給食における標準献立の実施／・いじめ防止啓発物品の作製／・平成29年度 千代田区「達成度調査」の結果／・平成30年度 麹町地区私立学童クラブの整備／・認可保育所設置運営事業者の選定結果／・美倉橋東児童遊園の改修工事／・和泉小学校・いずみこども園等の整備に係る調査検討報告／・平成29年度全国学力・学習状況調査の結果

就任のご挨拶



教育委員
長崎 夢地

この度、千代田区教育委員に就任いたしました長崎夢地です。今まで小学校のPTA役員、また青少年委員として活動してまいりました。その経験を活かしつつ、保護者の立場から、教育委員としてさらに幅広く充実した活動が送れますよう、常日頃から見聞を広めることを心掛けてまいります。千代田の子どもたちの成長を見つめ、寄り添い、そして共に歩んでいけたらと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。



教育長
坂田 融朗

この度、千代田区教育委員会教育長に就任いたしました坂田融朗です。重責ではありますが、次代を担う子供たちの教育や子育てのために、全力で取り組んで参ります。地域と学校が連携・協働しながら、教育を通じてよりよい社会を創っていくためにも、区民の皆様方をはじめ、学校現場のお話も十分に反映させつつ、教育長としての職責を果たして参りたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。